

アズパパの屋根裏部屋

Small Loft of AzuPapa

テクニカルメモ

No.3 「交差つなぎ」の可能性 (その2 : つなぎ目のデザイン性)

2018年7月
アズパパ

“交差つなぎ”は革のつなぎ目にデザイン性を与えることができると考えているが、実際にどのようなデザインが可能であろうか。

基本的な操作としては、穴の形状を変えることと、穴の直径を変えることであろう。この二つの組み合わせでいろいろなデザインを生み出すことができる。

このメモでは、10 パターンの例を紹介する。

1. 穴の直径を変化させる

交差つなぎの基本になる穴の形状は円形であると考えられる。通常は同じ直径の穴をあけてつないでいくが、穴の直径を増減させていくことで波長が変化する波のような表現が生まれる。(写真-1)

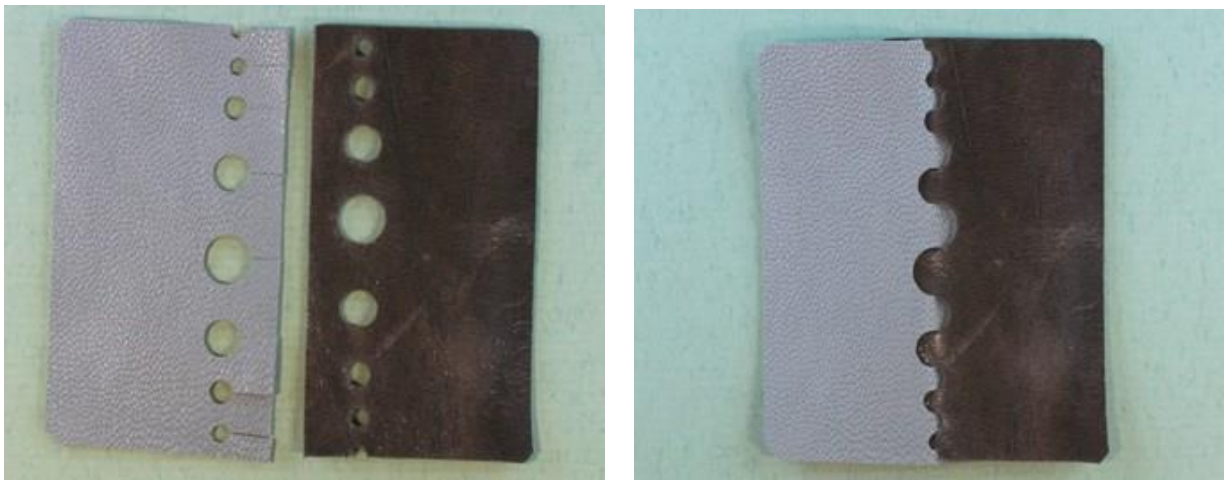


写真-1 円の直径を変化させる
(左はつなぎ前、右はつないだ後)

2. 穴の形状と方向を変化させる

革に穴をあける工具(ポンチ)の形状は円が基本だが、四角形、ネコ目、ハートなどいろいろな形状のものがあり、サイズもいくつか揃っている。

ここでは四角形とハート形のポンチを使ってつなぎ目の見え方に変化を与える。(写真-2~6)

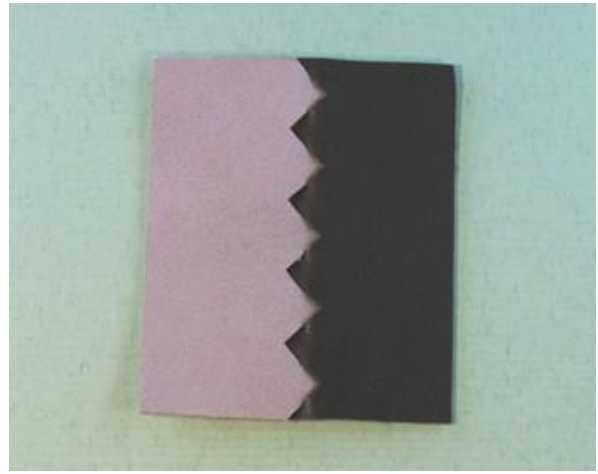
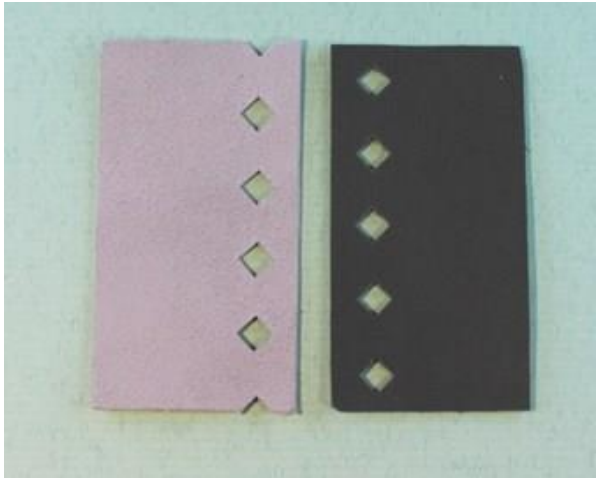


写真-2 正方形の形状(1)
(左はつなぐ前、右はつないだ後)

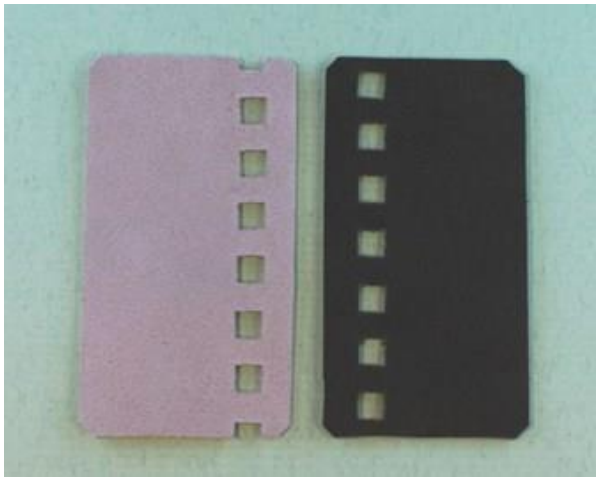


写真-3 正方形の形状(2)
(左はつなぐ前、右はつないだ後)

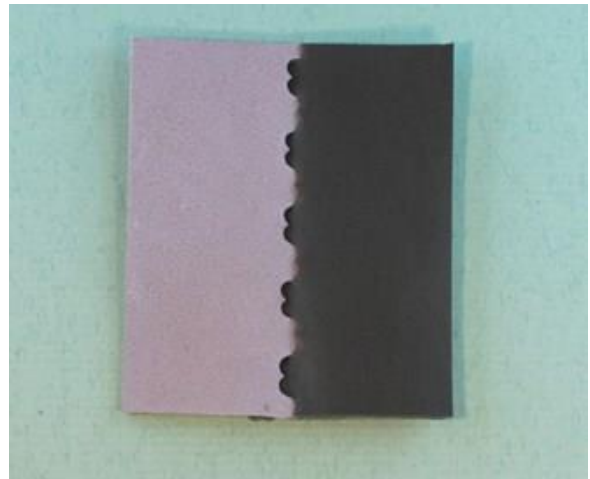
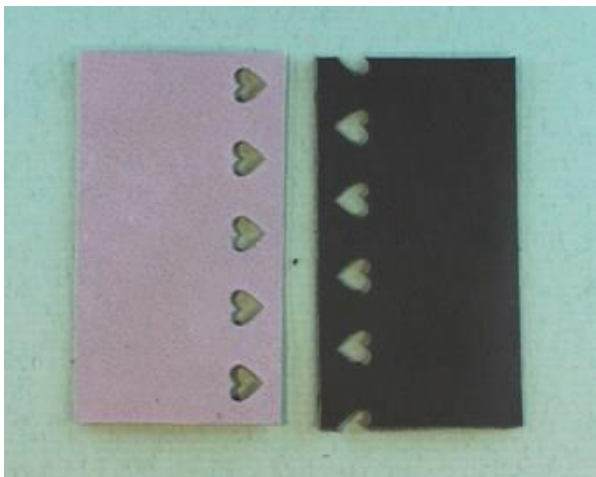


写真-4 ハートの形状(1)
(左はつなぐ前、右はつないだ後)

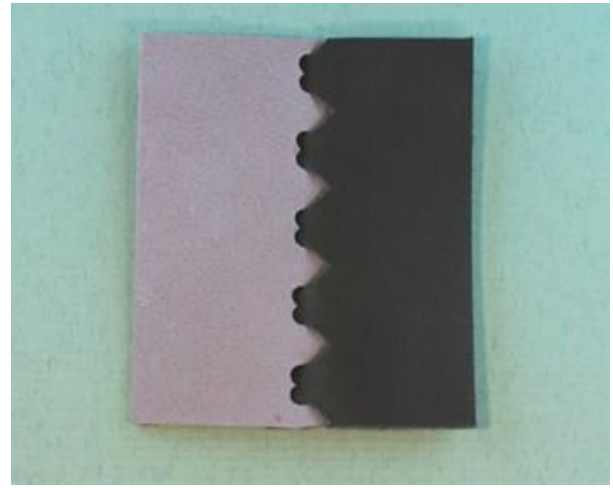
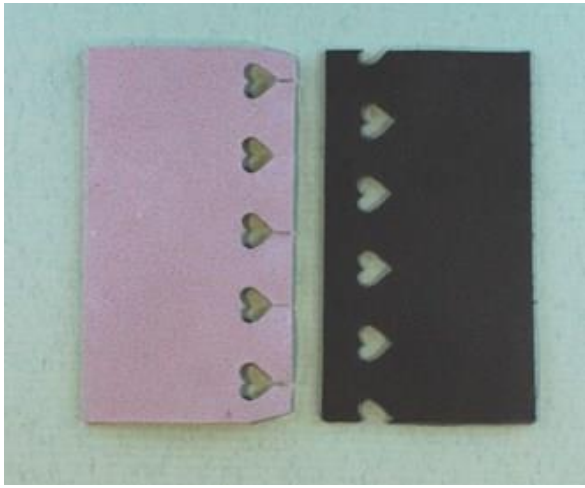


写真-5 ハートの形状(2)
(左はつなぐ前、右はつないだ後)

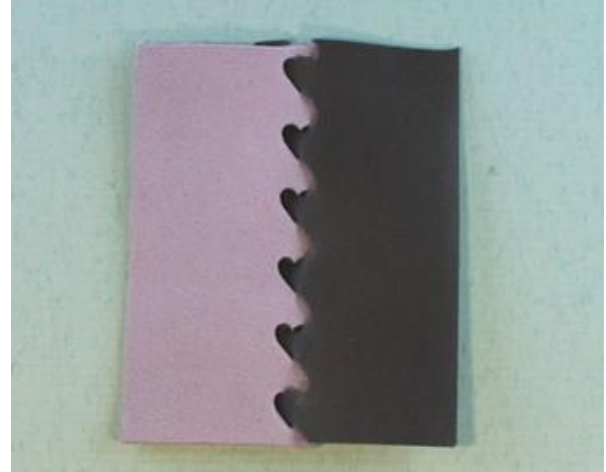
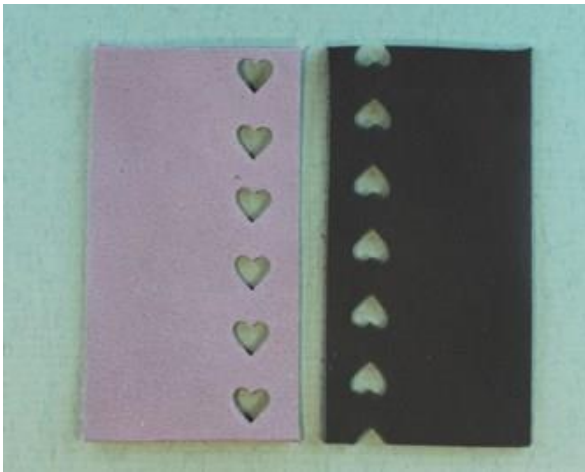


写真-6 ハートの形状(3)
(左はつなぐ前、右はつないだ後)

3. いろいろ組み合わせる

ここでは、ハートの形を中心にいろいろ組み合わせて革をつなぐ“ハートつなぎ”とでも言うべきつなぎ方を紹介する。(写真-7~9)

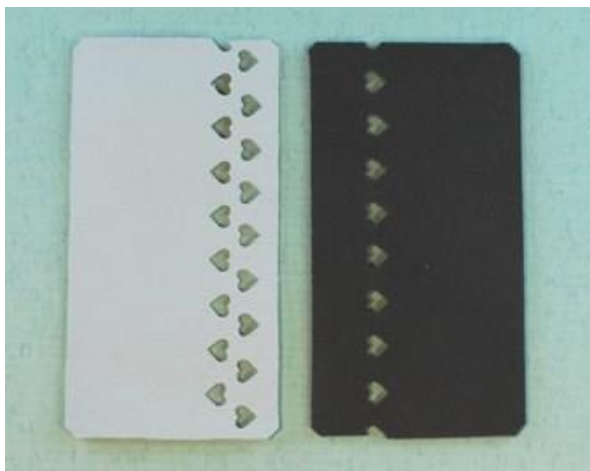


写真-7 ハートつなぎ(1)
(左はつなぐ前、右はつないだ後)

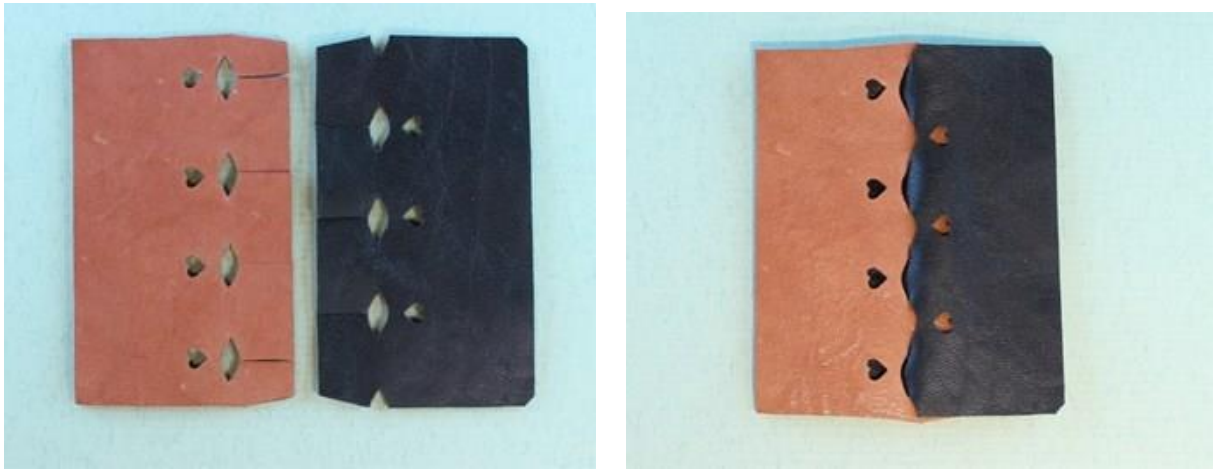


写真-8 ハートつなぎ(2)
(左はつなぐ前、右はつないだ後)

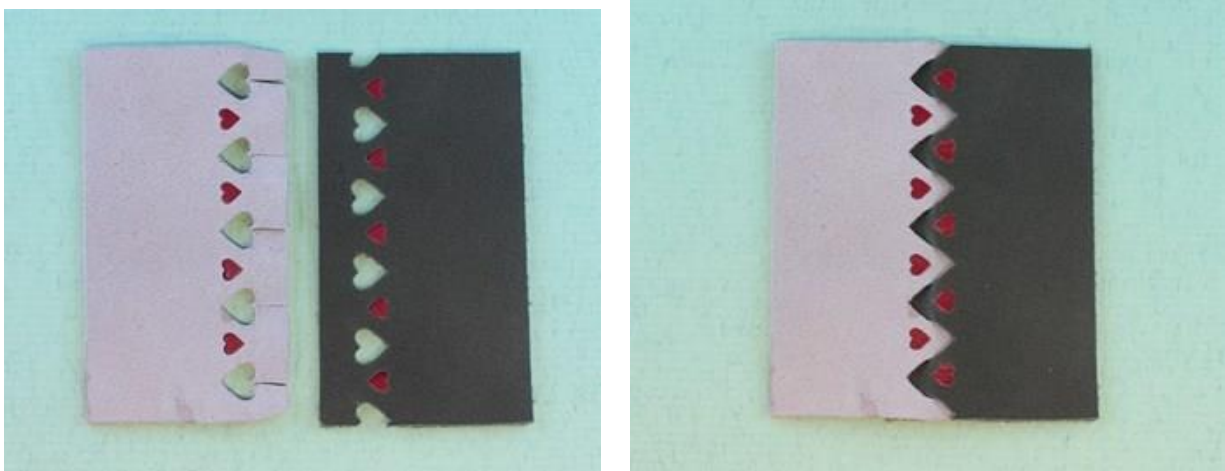


写真-9 ハートつなぎ(3) 一部象嵌(ぞうがん)を施す
(左はつなぐ前、右はつないだ後)

4. キャラクターを表現する

つなぎ目に沿って、動物や植物を連想させるような表現をすることも可能である。(写真-10)

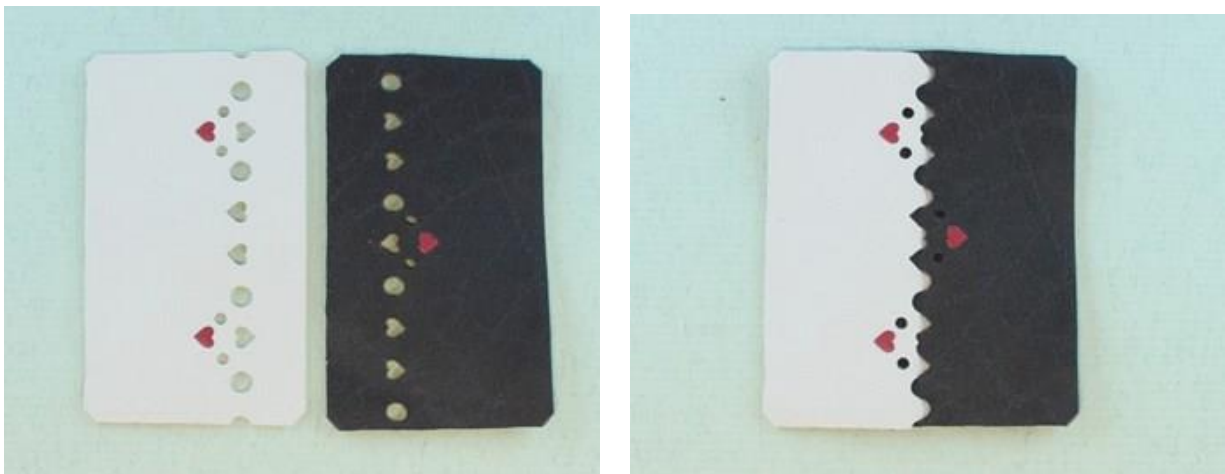


写真-10 鳥のような表現
(左はつなぐ前、右はつないだ後)

写真-10の鳥の顔をイメージしたつなぎ方では、鳥の目やくちばしに違う色の革をはめ込んでいる。いわゆる象嵌（ぞうがん）のような技法だが、ポンチで穴をあける場合には比較的容易にこういうやり方も使える。

以上述べてきたように、交差つなぎにおいては、穴の形状や大きさをいろいろ変化させたり組み合わせたりすることで、つなぎ目を様々な見え方にアレンジすることが可能である。

つなぎ目としての必要な強度は確保する必要があるが、いろいろな工夫で、“つなぎ目を楽しむ”ことができると思う。

※このテクニカルメモの著作権は、インターネットサイト「アズパパの屋根裏部屋」の管理者であるアズパパにあります。

※このテクニカルメモは、非営利的な目的で使用する場合に限り、自由に複製・配布することができます。

※「アズパパの屋根裏部屋」ホームページ

<http://azupapayaneurabeya.web.fc2.com/>



ホームページのQRコード